

学校休校に伴うホームスクーリングへの問い合わせ

コロナウィルスに伴う休校の中で、チア・につぽんへの初めての皆様からのお問合せも増えています。B さんご夫妻の御許可をいただき、ご家族とのメール交換の一部を紹介させていただきます。皆さまのご健康とますますの祝福を祈っています。

B さん

今回、コロナウィルスによる学校休校を機に、聖書に立つ教育、ホームスクーリング等の情報を求め、お問い合わせくださり本当に感謝です。息子さんの魂の行方や主にある将来がかかっていることで、神さまがBさんご夫妻に委ねられた大切な使命と責任ですね。

まずは、電話でお伝えした「初めてお問い合わせいただいた皆さんへの入門コース」(NL175号 P29 参照) の4つの教材情報を添付いたしますね。ホームスクーリングの大枠をつかんでいただけたと思います。またチア・マガジンを通して、ホームスクーリングの全体像、歴史、世界の最先端の情報、また日本での実践情報、法的環境ほか、詳細がよくお分かりいただけたと思います。

息子さんは小5ということでもまだ間に合いますし、これから右にも左にも行く、大事な年齢だと思います。マガジン各号の目次を見て、飛ばし読みでも大丈夫ですので関心のある記事を読んで、積極的に情報収集して下さったと思います。

「ホームスクーリングとは」「ホームスクーラーの進路」など詳細については、チア・ホームページ (www.cheajapan.com) でも簡単にご紹介していますので、ご参照ください。

お問い合わせくださった「聖書に立つ教科書シリーズ」ですが、ご関心を持ってくださりともうれしく思いました。『聖書3』(主に3-5年生用)でも大丈夫ですし、主に6年生用(5年生や中1も可)の『聖書6』でもいいかもしれません。内容はどちらも深いです。どうぞ、息子さんに合うタイプの教科書をご選択ください(聖書シリーズは大体2学年で1冊になっています。内容的には『聖書3』でもかなり高度。『聖書7』以降の教科書は日本の神学校でも使われています)。

ちなみに、「リカシリーズ」は、内容的には小6レベルまでの内容を含み、聖書からの視点で分析されていますので、『リカ1』からスタートでOKです。

子育て本としては、直接にはホームスクーリングに言及していませんが、基本となる3冊を紹介させていただきます。『聖書が教える親の道』『チャイルドトレーニング』『聖書が教える親子のコミュニケーション』です。その他もぜひ読んで情報収集していただければと思います。

ホームスクーリングをフルタイムで実施する、しないにかかわらず、聖書に立つ教育に対する確かな意識と情報は本当に大事です。「形より本質を」で、私たちは20年前から「週2時間からのホームスクーリング」を勧めてきました。この機会がBさんご家族にとって、大いなる新しい祝福の時となりますように心から祈っています。

チアへの問い合わせを励ましてくださり、「きつととても良いことになると思います」といった趣旨で話して下さったD牧師にもくれぐれもよろしくお伝えください。

主に在りて

チア・につぽん代表 稲葉 寛夫



「私たち作ったの。気に入ってもらえる？」（自主企画 / 東京会場）

稲葉さま

ハレルヤ！ 先日はこちらの質問に真摯かつ率直に答えて頂き、ありがとうございました。とても安心できて感謝しております。

お勧めして下さった書籍等を購入する前にもう一つ質問があります。SHOPにある「ホームスクーリングがよく分かるパッケージ商品」についてですが、今の段階の私たちにあった方がいいのか、それともまだなくても大丈夫なのかが分かりません。よろしければアドバイスを頂けますでしょうか？

Bさん

ぜひ、お勧めです。フルタイムのホームスクーリングをするか、週2時間からのホームスクー

リングマインドで進むかは別にして、すべての保護者の皆さんに受け止めておいてもらいたい情報です。できれば、チア・マガジン 30 冊以上の特別ディスカウントをご利用いただき、今回の「時」を活かして情報を集めていただくことが一番のお勧めです。

「パッケージ商品」（マガジン 43 ～ 46 号）を薦める理由は以下の通りです。まず、ホームスクーリングの全体像をつかんでいただけます。元文科大臣 6 名、文科副大臣 2 名らを含め、教育関係の国会議員、文科省ら約 30 名と私たちとの個人面談の記事から、「ホームスクーリングのメリットは」「真の社会性を育むために」「親に教えることができるのか」「憲法・法的な観点」ほか、よく尋ねられる質問に答えています。実際に議員の皆さんにも納得していただき信頼が得られ、他の議員を紹介していただいたり、チア・にっぽんが提案する方向で法案が修正されていくことにもなりました。チア・にっぽんの推薦者に名前を連ねてくださった議員もおられます。そのやり取りを通して、ホームスクーリングの本質に迫れます。

B

また、チア・につぽんのみが反対した法案の一部（例えば「毎月一度の家庭訪問制度」等）が削除となり、与野党の議員の皆さんから驚きと敬意の声をいただきました。これは神さまの大きな力と知恵が注がれたとしか言えません。近年、日本のクリスチャンの働きで法律が変わった事例は、稀有ともいえ、ものすごい神さまの力と御心が注がれたと考えています。そのような神さまの働きが、日本の国政の中枢で行われていた、その証しのリアリティーが伝わり、信仰的にきっと励まされると思います。

また、「教育機会確保法」の全貌もよく分かります。「学校任せの弊害」に多くのクリスチャンが気づいていない中、むしろノンクリスチャンが先に気づいている側面もあります。日本の教育のあり方に関する最新の議論と法制度がよく分かり、多くの示唆や啓発される点があると思いますので、ぜひ熟読していただければと思います。

続いて、チア・マガジン 30 冊以上ディスカウ

ントの推薦の理由です。マガジンには、聖書的な子育てや知恵、励まし、ヒント等がいろんな角度から情報提供されています。上記の「パッケージ商品」4 冊は、超党派の国会議員、文科省ほかノンクリスチャン対象です。私たちがクリスチャンの団体であるという立場を明確にし、聖書等の引用も含め、福音も交えて話しています。ノンクリスチャン議員や文科省職員の立場を最大限考慮しながら、ポイントを絞って話し、言葉を選び、また執筆しています。

一方、それ以外のチア・マガジンの主な対象読者は、クリスチャンの保護者、教職者ですので、ずばり聖書全開です。聖書はチア・につぽんの基盤であり、真髄です。「子育て」「教育」という視点から聖書を読み解くと、深い知恵と真実が与えられます。半世紀を超える欧米でのホームスクーリングの歴史、また 20 年前にスタートした日本での実践を伝える知恵の宝庫であり、ぜひ触れていただければと願っています。ホームスクーラーの実践者が語る、現状の学校教育の危険性、また実際、ホームスクーリングに踏



チルミニ賛美練習風景より 「まずは、ぼくたち先輩が歌うから、見てて」

み出しての困難、失敗点、神さまから新しく教えられたこと等、正直に誠実に実践的に書かれていますので、きっと多くの示唆がえられるのではと思います。

創刊号の私の巻頭言とジュリー・ホーンさんの記事では、聖書に立つ教育を概観できますので、ぜひお読みくださればと思います。

主に在りて
稲葉

稲葉さま

ご連絡ありがとうございます。昨日、注文した商品を受け取りました。迅速な対応ありがとうございました。

書籍やテキストの大きさと厚みに圧倒され、内容を読み、あまりにストレートなメッセージにさらに圧倒されながら読み始めたところです。息子はもうすぐ11歳となりますが、正直始めるには遅すぎたのかと思わされるところがあります。息子くらいの年齢から始められた方はいるのだろうか、との思いが拭えません。稲葉さんがご存じの方で10歳以上から始められた方はいらっしゃるのでしょうか。

さらに、私たちがクリスチャンホームに育ったわけでもないのに、ハードルが高いという感覚が抜けません。書籍は日本語に訳されていますが、感覚的には英語原書にいきなり当たってしまったようで、どこまで日本人の私たちの実生活に当てはめていけるのだろうかと思ってしまいます。

B

PS 今日初めて聖書6を読みました。量的にはびっくりしましたが、読んでみたら結構できそうだったので、少しずつ進めていきたいと思っています。息子より

Bさん

ホームスクーリングを小学校高学年、中高生から始められた方々もずいぶんおられます。ですから「思い煩うことなく」「すべて時にかなって美しい」ですので、この時を「主の時」としてとらえて神さまに祈り求め、前向きに進まれてはと思います。

確かに早い段階でスタートするメリットは大きいです。魂が世に染まらず、悪影響を受ける前に始めることをチアも全力で薦めています。でも、それぞれに主の時があり、途中で気づかされた皆さんが立ち上がられた時にも祝福があります。チアとしても精いっぱいサポートしていければと思っています。

例えば、子どもに危険が迫っていると分かった時は、遅かろうとなんだらうと必死に最善の対処をされると思います。週2時間からのホームスクーリングであっても、本来親がなすべきことだと聖書が示していますから、目覚めた今、遅くありません。新たな意識で少しずつでも取り組まれると、神さまの祝福の中で必ず息子さんのためになると思います。

これには緊急性があります。子どもたちの心が傷つけられ、痛手を負い、今とは全く変わってしまい、親を見下げ、神さまとの関係を失っていく状況が来るかもしれません。あるいは信仰を持ったとしても、聖霊の実を結ばず、肉に属するクリスチャンとして、使命を失う道を選択していくかも知れません。

だから、「もう遅いのでは…」と思わず、「今、主が時を与えてくださった」とすべて感謝してとらえ、前向きに、恐れず、祈り、勇敢に進んでくださればと心から思います。

昨夜、末っ子のジョセフ（11）が私に聞いてきました。「Bさんの子どもさんは名前、何て言うの？ 多分、コンベンションとか白馬セミナー

に来てきつと会うことになるだろうから、名前を知っておきたいよ」「C君だよ。今10歳だって。ジョセフの1つ下かな。でもお父さん、お母さんは、ちょっと遅かったのではと悩んでおられるよ」「そんなことないよ。中高生でホームスクーリングを始めた子、たくさんいるよ。それから、大きくなって始めるメリットもあるよ。僕の野球がそうでしょう。僕は10歳の夏に、みんなより遅く野球を始めたからこそ、伸びたよ。一昨年の秋に佐伯コーチ（元西武ライオンズ）やスコットコーチ（元メジャーリーガー）らに出会って習って、その教えを素直に受け入れ、覚えることができた。もしみんなみたいに幼稚園や小1から野球チームに入って、自分の癖がついてたら、佐伯コーチやスコットコーチの教えは受け入れられない心になってたと思う。遅く始めて良かったんだよ。それを伝えてほしいな」「そうだね。主の時だったね。その話は、ダディもBさんたちに伝えようと思ってたんだよ。必ず伝えるね。ありがとう」

ジョセフは現在、チームメンバー30人のうち29人がプロを目指す強豪チームに所属しています。昨秋からチームの5番を勝ち取り、2月から始まった新チームでは3番か4番です。

周りの子と比べるとスタートが遅く、チームメイトや、一部の親からもいじめられたりして、苦労はたくさんありました。でも、上記の特別コーチや良き監督・コーチらにも恵まれ、良き教えを受け、努力も重ね、どんどん伸びていくことができました。私も預けっぱなしにせず、ホームスクーリングマインドで取り組み始めました。野球関連の本など300冊ぐらい読んだり、DVDを見たりして学び、ジョセフと一緒に訓練する気持ちで過ごしました。辛いいじめの時も、きつい練習の時も寄り添ってきました。もっと早く始めていれば…と何度思ったか分かりません。でも「主の時」がある、主により頼もうと思って努力を重ねました。そして主はゆっくりと状況を変えてくれました。今は野球をスタートして1年8カ月が経ちますが、4人の元メジャー

選手や2人の元プロ選手から、「将来はメジャーで活躍するだろう」と言われるところまで来ました。本当にそのようにメジャー選手になって神さまの福音を伝えることが許されるか、それは神のみぞ知ることですが、信じて励んでいます。

ホームスクーリングの観点から言えば、アメリカや日本のホームスクーラーの試行錯誤は、まさにBさんたちをサポートするためでもあるのでは、と思ったりもします。ですから、今からスタートでも大丈夫ですよ！今が主の時ではありませんか？とお伝えしたいです。

私自身の歩みは不十分で、失敗も多く、その後も山あり谷ありで、悔い改めることも多いです。でも、主のあわれみと恵みと赦しと愛の中で、ホームスクーリングに導かれて本当に良かったなと思っています。

『聖書6』は、確かにレベルは高いですが、アメリカすなわち世界で最も人気のある聖書教材です。聖書に立つ教育カリキュラムを編纂している出版社は全米で200社ほどあります。本書は、ボブ・ジョーンズ大学出版といってその中でトップを争う会社で、特に「聖書」「りか」「世界史」の部門では半世紀余りNo.1です。トップになることは簡単ではなく、また半世紀にわたりトップということも素晴らしい点です。その実力と祝福を得た教材が日本で出版でき、多くのご家族に届けられることは神さまの奇跡とあわれみだと思っています。

完璧主義にならず、年間で4分の1進んだらOKとのフレキシブルな気持ちで取り組んでくださればと思います。また、楽しくても1日20分以上はやらないとか、ブレーキをかけてあげるぐらいが長く続くコツです。

私たちには3つの強い目的があります。「魂の救い」「キリストの弟子のこころを与える」そして「伝道・世界宣教」です。神さまの愛と赦しとあわれみの中で前進し、日本全国の子どもた

ち、そのご家族が祝福され、伝道に用いられていけばと願っています。

稲葉

稲葉さま

一つ一つの疑問に丁寧にお返事くださり感謝しています。ジョセフ君のコメントもとても嬉しく、励まされました。「どうもありがとう」とお伝え下さい。

主により頼み、続けられている野球のお証を読み、ホームスクーラーならではの情熱と集中力に脱帽と同時に、私たちには息子のために何ができるかと我が身を省みる思いです。ジョセフ君のご活躍、お祈りしています。

家族で稲葉さんからのメールを拝読させて頂いたのですが、ジョセフ君の名前が出てくるやいなや、息子がチア・マガジンを持ってきて、ジョセフ君が載っているページを開き、「この子で

しょ！」と見せてくれました。息子は読書が大好きで、私たちよりも先にマガジンを読み進めていたようです（ちなみに『聖書6教師用』も盗み読みしていて、ユニットごとにある読み聞かせの物語を就寝前に読んでいます）。

今はちょうど休校中であり、形だけですが、ホームスクーリングを実践できる十分な期間が与えられています。まずは、聖書6と5年生の勉強を息子と進め、私たちは先日送って下さいました資料・書籍に早急に目を通し、今後のことについて祈りつつ考えていきたいと思っています。

私たちの不安・悩みを吹き飛ばすような稲葉さんの熱意、チア・マガジンに載っている皆さんの活動と笑顔、すべてに驚かされ励まされながら、この自粛ムードの日々を家族で乗り越えて行けることを感謝しています。

B

